



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月28日

上場会社名 ホウライ株式会社
 コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷澤 文彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員財務企画部長 (氏名) 泰地 伸宏

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成29年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	3,791	△1.3	94	△40.8	258	△25.9	235	△5.0
28年9月期第3四半期	3,842	4.7	159	213.7	348	37.9	248	4.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	168.81	—
28年9月期第3四半期	177.70	—

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	18,262		7,186			39.3
28年9月期	18,338		6,986			38.1

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 7,186百万円 28年9月期 6,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期	—	0.00	—		
29年9月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円00銭となります。

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.8	300	23.6	470	0.5	390	13.7	279.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年9月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期3Q	1,404,000 株	28年9月期	1,404,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期3Q	7,023 株	28年9月期	6,899 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期3Q	1,397,046 株	28年9月期3Q	1,397,307 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の政治・経済政策や金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国の景気動向、英国のEU離脱問題の影響等、先行きを見通しづらい状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。営業収益は、ゴルフ事業が前年同期を上回りましたが他の事業は下回り、全体では前年同期比減収となりました。営業総利益は各事業ともに前年同期を下回りました。一般管理費は、システム更改に伴う経費増を主因に前年同期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益が3,791百万円(前年同期比51百万円減)、営業総利益は546百万円(前年同期比53百万円減)、一般管理費は451百万円(前年同期比11百万円増)となり、営業利益は94百万円(前年同期比65百万円減)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益153百万円(前年同期比21百万円減)を計上したことを主因に、経常利益は258百万円(前年同期比90百万円減)、四半期純利益は235百万円(前年同期比12百万円減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①保険事業

お客様それぞれのニーズに対応した商品提案を行うとともに、リスクコンサルティング営業に努めました。損害保険の契約更改、並びに生命保険の新規契約獲得は順調に推移しましたが、損害保険の新規契約獲得が前年同期を下回り、営業収益は787百万円(前年同期比1百万円減)となりました。営業原価は、営業推進体制強化のための人件費の増加を主因に前年同期を上回り、営業総利益は266百万円(前年同期比5百万円減)となりました。

②不動産事業

前期大口テナントが退出したさくら堀留ビルの後継テナントが入居したことで、賃貸ビル全体の入居率は高水準で推移しておりますが、テナント入替に伴う賃料水準の低下や新宿ホウライビルでの一部賃料改定による賃貸収入の減少により、営業収益は1,160百万円(前年同期比53百万円減)となりました。営業原価は、前年同期の池袋室町ビルの大口修繕工事がなくなったことによる修繕費の減少や、新宿ホウライビルの一括賃借料の減少等により前年同期を下回り、営業総利益は444百万円(前年同期比26百万円減)となりました。

③千本松牧場

お客様に「行きたい・行ってみたい」と思っただけできるよう、企画やイベントに工夫を凝らしました。また、冬場オフシーズン対策として、いちご園の再開や、中高生の教育旅行の立ち寄り誘致の強化に取り組みました。さらに、旅行会社・近隣観光施設との連携をより深化させるとともに、各種メディアを通じた活発な広告宣伝等も織り交ぜ集客増強に努めました。しかしながら、秋口以降年明けにかけて天候に恵まれず、春の行楽シーズン以降持ち直してきてはいるものの、来場者数は前年同期を下回りました。営業収益は、量販店等への日配品販売強化により営業推進部門は前年同期を上回りましたが、食堂・売店の減収を主因に直販サービス部門は前年同期を下回り、部門全体では1,321百万円(前年同期比5百万円減)となりました。営業原価は、不採算ソフトクリームショップの閉店、配送ルート効率化による運賃の削減等各種効率化に努めましたが、一方で営業推進のためのホームページの全面改修による支払手数料等の増加などもあり部門全体では前年同期を上回り、営業総損失は71百万円(前年同期比14百万円悪化)となりました。

④ゴルフ事業

各種コンペや競技会の開催誘致の営業強化に加え、男子プロミニツアー「ザ・フューチャー ホウライCUP(4/6~4/7開催)」や「LPGA二次プロテスト(6/27~6/30開催)」等戦略的なコースに相応しい大会の開催が追い風となり、来場者数はホウライ・西那須野両コース合わせて前年同期を上回りました(2.4%・800名増)。また、キャディ・フロント・レストラン等全員がそれぞれの持ち場・局面で肌理細やかなサービスに努め、営業収益は521百万円(前年同期比9百万円増)となりました。営業原価は、営業・接客強化のための体制整備に伴う人件費の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は92百万円(前年同期比6百万円悪化)となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,031	3,335,766
受取手形及び売掛金	296,228	291,587
商品及び製品	123,690	116,710
仕掛品	3,240	23,916
原材料及び貯蔵品	64,635	66,013
その他	101,315	97,019
貸倒引当金	△1,467	△1,343
流動資産合計	4,066,674	3,929,670
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,107,151	3,029,718
土地	7,056,555	7,056,555
その他(純額)	2,464,997	2,524,307
有形固定資産合計	12,628,704	12,610,581
無形固定資産	74,165	72,675
投資その他の資産		
その他	1,591,648	1,672,937
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,568,648	1,649,937
固定資産合計	14,271,518	14,333,194
資産合計	18,338,192	18,262,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,632	73,948
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
未払法人税等	56,148	—
引当金	37,697	24,106
その他	684,470	678,325
流動負債合計	952,947	874,381
固定負債		
社債	1,161,000	1,112,000
長期預り保証金	8,866,625	8,663,994
引当金	122,847	161,038
資産除去債務	41,337	41,913
その他	206,718	223,152
固定負債合計	10,398,529	10,202,097
負債合計	11,351,477	11,076,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,083,783	2,249,768
自己株式	△16,843	△17,101
株主資本合計	6,934,543	7,100,269
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,172	86,116
評価・換算差額等合計	52,172	86,116
純資産合計	6,986,715	7,186,386
負債純資産合計	18,338,192	18,262,865

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	3,842,759	3,791,401
営業原価	3,243,424	3,245,280
営業総利益	599,335	546,120
一般管理費	439,626	451,589
営業利益	159,708	94,531
営業外収益		
受取利息	535	215
受取配当金	22,966	22,637
会員権消却益	175,125	153,310
その他	19,690	14,342
営業外収益合計	218,316	190,506
営業外費用		
支払利息	8,168	7,766
支払保証料	13,068	12,067
その他	7,825	6,476
営業外費用合計	29,062	26,310
経常利益	348,962	258,727
特別利益		
補助金収入	—	9,400
特別利益合計	—	9,400
特別損失		
固定資産除売却損	8,737	19,415
固定資産圧縮損	—	9,400
特別損失合計	8,737	28,815
税引前四半期純利益	340,224	239,312
法人税、住民税及び事業税	77,045	40,073
法人税等調整額	14,878	△36,600
法人税等合計	91,924	3,472
四半期純利益	248,300	235,839

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。